

平成28年8月

各位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成28年8月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださるようお願いいたします。

リオデジヤネイロ 2016 オリンピック開幕まで、あと数日となりました。八戸市からは、女子レスリング 58kg 級に伊調馨選手が出場します。伊調選手は、アテネ、北京、ロンドンと3大会連続金メダルを獲得しており、リオデジヤネイロオリンピックでは、4連覇に挑みます。オリンピック4連覇は、全種目を通じて過去に男子2人のみで、伊調選手が金メダルを獲得すれば、史上3人目、女子では史上初の快挙となります。

八戸ポータルミュージアム「はっち」では、パズリックツアーインングも実施します(8月17日午後10時から18日午前1時)。皆さん、各地で、伊調選手を応援しましょう。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

#### 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸 8月号 レポート

平成28年7月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

No.	項 目
1	是川縄文館 開館5周年を迎える
2	中国・蘭州市代表团が八戸市を訪問 両市の交流「さらなる発展を」
3	八戸市 県内初 コンビニで住民票交付開始
4	上組（神戸）が青森県、八戸市と立地協定締結

## 【産業】

No.	項 目
5	旧レック・旧アルヌツ跡地に 複合ビル「ガーデンテラス」オープン

## 【地域】

No.	項 目
6	種差海岸インジオメーションセンター 来館者40万人突破！
7	「八戸ファッシュ&チップス」を新名物に！
8	南郷地区で「ブルーベリー観光農園」が開園
9	クマの目撃情報相次ぎ センサーカメラを設置
10	種差海岸芝生地で乗馬体験 ～馬上からの景色満喫～
11	青森駅～般駅間で「無島応援号」臨時運行
12	甲種危険物取扱者試験 八戸工高の滝谷さんが難関突破
13	「JR陸奥湊駅 夏の到来告げる「イカ風鈴」お目見え
14	「JAL国内線クラス」で 青森県産品づくりの機内食を提供

## 【文化・スポーツ】

No.	項 目
15	「南部昔言葉語り部養成講座」始まる
16	国宝「合掌土偶」頭部と胴体分けて制作か？ CTスキャンで判明
17	「バルーンアート」トリスコンテス部門 八戸の大南さん準優勝
18	「バーテンダーの祭典」ツールボックス日本大会 八戸市の2人が快挙
19	八学光星 春夏連続の甲子園出場へ
20	「森のおとき会」始まる ～昔言葉（昔話）に笑顔～
21	鮫漁港で全国水産・海洋高校カッターレース開催
22	八戸市博物館で「かつば展」開催
23	八戸三社大祭 制作技術向上狙い、全27山車組から審査員
24	八戸舞台ドラマ「制服捜査3」主演の内藤剛志さんから 市内で撮影が本格化
25	南郷サマーフェスティバル ～好演！熱演！名演！～



記事	概要
(1)	<p><b>是川縄文館 開館5周年を迎える</b></p> <p>八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館が7月10日、開館5周年を迎えた。国宝・合掌土偶をはじめとした風張1遺跡、国史跡・是川石器時代遺跡の遺物などを展示し、埋蔵文化財の発掘調査、研究を進めている。2015年度の来館者数は2万8千人余り。「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向け、縄文フアンのさらなる拡大を目指す。市民ら約60人で組織する縄文是川ボランティアがガイドを担当しており、土偶などの制作体験指導も実施。フアン拡大に向け、親しみやすいイベントからボランティア養成講座まで、今後も市民参加を促す多様な企画を考えていくという。</p>
(2)	<p><b>中国・蘭州市代表团が八戸市を訪問 両市の交流「さらなる発展を」</b></p> <p>八戸市と友好都市協定を結んでいる中国・蘭州市の政府友好代表团の一行が7月14日、八戸市庁を訪問し、両市のさらなる交流の発展を確かめた。両市は1983年に友好都市協定を締結。産業や教育、文化分野などで友好を深めてきた。一行は団長を務める厳志堅人民政府副市長ら6人で、1泊2日の日程で八戸を訪れた。市立東中を訪問し、教育分野の交流について協議したほか、種差海岸の視察や歓迎夕食会などが行われた。</p>
(3)	<p><b>八戸市 県内初 コンビニで住民票交付開始</b></p> <p>八戸市は8月29日から、個人番号（マイナンバー）カードを使いコンビニで住民票の写しなどを交付するサービスを始める。取得できるのは、住民票の写しや印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の付票の写しの4種類。店内のマルチコピー機にマイナンバーカードを読み込ませ、画面の指示に従って操作すると、その場で発行される。コンビニでの証明書交付サービスの実施は青森県内で初めて。</p>
(4)	<p><b>上組（神戸）が青森県、八戸市と立地協定締結</b></p> <p>八戸市豊洲の八戸港ポートアイランドに大型備蓄倉庫「上組八戸出張所 定温物流センター」を建設している、港湾運送大手の上組（神戸市）が、青森県や八戸市と立地協定を結んだ。東北地方を中心に、飼料業者による飼料用米の取扱量の増加が見込まれることを踏まえ、八戸港でコメを保管できる新たな物流拠点として活用する。2017年4月の開設を目指す。八戸市の誘致企業認定は104件目。</p>
【経済】	<p>記事</p>
(5)	<p><b>旧レック・旧マルスツ跡地に 複合ビル「ガーデンテラス」オープン</b></p> <p>三日町と六日町にまたがる旧レック・旧マルスツ跡地の再開発で、六日町側に江陽閣が整備していた複合ビル「ガーデンテラス」が7月29日にオープンした。ビルは地上4階建てで、飲食店やオフィスが入居する。同日、完工を報告する式典が開かれ、市や商工会議所、テナント、工事の関係者ら約60人が出席し、テープカットをして開業を祝った。八戸市は11月をめどに、ビル1階に「八戸ブックセンター」を開設。三日町側には、屋内型の庭をイメージした「（仮称）マチニコ」を2017年度までに整備する予定。</p>



記事	概要
	<p><b>種差海岸インフォメーションセンター 来館者40万人突破！</b></p> <p>三陸復興国立公園にある種差海岸インフォメーションセンターの来場者数が7月5日、40万人を突破した。種差エリアを散策する拠点として利用されているセンターは、国立公園指定から約1年後の2014年7月にオープン。以来、多くの人々が足を運び、同年9月に10万人、2015年5月に20万人、同年9月に30万人を記録した。節目の来館者となったのはおいらせ町の種市シラさん(82)。ダイサービスセンターの通所者ら15人と一緒に入館した種市さんは「びっくりした」と驚きながらも、関係者と来館者に祝福され、笑顔で花束と記念品を手にした。</p>
	<p><b>「八戸フィッシュ&amp;チップス」を新名物に！</b></p> <p>八戸ハタリレーシヨンプロジェクトが7月16、17日に八戸市内で開く「夏のダイヤベースinはっち」で「八戸フィッシュ&amp;チップス」がデビューする。白身魚の揚げ物にポテトフライを添えたフィッシュ&amp;チップスは英国が本場。アレンジした「八戸流」は、参加11店のシェフが店ごとに工夫を凝らし、白身魚に限らず八戸産の魚介類を用いる。タラやアナゴ、タコ、ヒラメ、イカなどが使われる予定で、関係者は「八戸の魚介類を、よりカジュアルに食べられるようにしたい」と意気込んでいる。</p>
	<p><b>南郷地区でブルーベリー観光農園が開園</b></p> <p>ブルーベリーが収穫期を迎えた南郷の上ノ山観光農園で、7月12日に開園セレモニーが行われた。近くのいちのさわ保育園の子どもたち36人が招かれ、ブルーベリーの摘み取りを体験した。南郷地区では16の観光農園で計20種類のブルーベリーを栽培しており、今年は春に気温が高く好天に恵まれたため平年より1週間から10日ほど着果が早く、実が大きく豊作だという。各観光農園は順次開園し、8月中旬まで摘み取り体験を受け付ける。</p>
	<p><b>クマの目撃情報相次ぎ センサーカメラを設置</b></p> <p>八戸市森林組合は、市内でクマの目撃情報が相次いでいることから、目撃が多く住宅地に近い3地区（田面木、糠塚、鮫）に計9台のセンサーカメラを設置した。クマが確認できた場合、捕獲用のわなを設置するなど、関係機関と対策を協議する。市農林畜産課によると、今年4月から6月末までに市に寄せられた「クマを見た」との情報144件で、既に昨年度1年間の13件を上回っている。田面木地区では養蜂箱が荒らされる被害も発生した。調査は7月いっぱい続け、クマが頻繁に確認された場合は期間を延長することも検討する。</p>
	<p><b>種差海岸芝生地で乗馬体験 ～馬上からの景色満喫～</b></p> <p>種差海岸天然芝生地で乗馬が楽しめる「乗馬体験イン種差海岸」が7月9日から始まり、訪れた多くの市民や観光客が馬上からの景色を満喫した。種差観光協会が「POLOライディングクラブ」の協力で、2012年から開催している。担当者が引率しながら、芝生地の海沿いを一周する。料金は大人700円、小学生以下500円。8月以降の開催は8月6日、20日の午後0時半～午後3時半。9月10日、24日の午後0時半～午後3時。</p>
	<p><b>青森駅～鮫駅間で「蕪島応援号」臨時運行</b></p> <p>「R」などが9月末まで実施している「青森県・函館ダイネーションキャンペーン」の企画で、蕪島神社の再建を願う「蕪島応援号」が7月17日、青森駅～鮫駅間で臨時運行した。青い森鉄道と「R」八戸線を直通運転する、この日のみの1往復の列車。約60人を乗せた車両が鮫駅に到着すると、八戸市の観光関係者15人が、「おんであんせ八戸」の横断幕で歓迎。観光客は、歩いて蕪島まで移動し、野澤宮司から蕪島神社の正式参拝を教わり、再建への思いを寄せた。</p>



	<p><b>甲種危険物取扱者試験 八戸工高の滝谷さんが難関突破</b></p> <p>(12) 青森県立八戸工業高3年の滝谷翔吾さんが、難関の甲種危険物取扱者試験に合格した。甲種危険物取扱者は消防法により、一定規模の石油タンクや化学工場などで配置が義務付けられる。青森県内では近年、社会人に交じり試験に挑む高校生の姿が見られ、年間5人前後が学生ながら狭き門を突破している。八戸工業高では6年連続の合格者となった。</p> <p><b>J R陸奥湊駅 夏の到来告げる「イカ風鈴」お目見え</b></p> <p>(13) J R八戸線陸奥湊駅の2階通路に7月22日、恒例の「イカ風鈴」がお目見えした。駅周辺の沿岸でかつてイカを干していた風景を再現し、利用客をもてなそうと、J R東日本八戸地区指導センターの職員が2006年から毎年制作している。短冊には「八戸のイカ食ってける」などと、もてなしの言葉が書かれている。本物の八戸産スルメイカで作った南部鉄風鈴54個が、駅を訪れる人たちに夏の到来を感じさせている。8月22日まで。</p> <p><b>JAL国内線ファーストクラスで 青森県産品づくりの機内食を提供</b></p> <p>(14) 日本航空は、東北応援プロジェクトの一環として8月の1か月間、倉石牛や青森シヤモロックなど、青森県を代表する八つの食材を使った機内食を国内線ファーストクラスで提供する。機内食のテーマは「青森"8"（えいと）」。「星野リゾート界津軽」の野秋国弘料理長がメニューを監修した。食材は、アブラツリザメ、シヤモロック、倉石牛、ホタテ、ゴボウ、獄きみ、リンゴ、イカの8種類。八戸酒造の日本酒「陸奥八仙」も添えられ、青森の魅力が「空のおもてなし」を通じて発信される。</p>
--	--

【文化・スポーツ】

記事	概要
(15)	<p><b>「南部昔コ語り部養成講座」始まる</b></p> <p>南部地方の民話「南部昔コ」を伝えていく人材を育てる「南部昔コ語り部養成講座」が7月5日、市公民館で始まった。2013年から毎年開催され、4回目。地域で育まれた文化である方言を伝えていこうと、若い世代を含めた語り部の育成を目的に開催している。昼・夜の部合わせて、約40人が参加。講師は市公民館館長で八戸童話协会会长の椎谷伸夫さんから務めた。参加者は地域に古くから伝承される昔話と、南部弁の温かさに触れた。</p>
(16)	<p><b>国宝「合掌土偶」頭部と胴体分けて制作か？ C Tスキャンで判明</b></p> <p>八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館にある国宝「合掌土偶」が、頭部と胴体を分けて作られたとみられることが分かった。3Dプリンターによるレプリカ制作の過程で実施した、エックス線C Tスキャンで明らかになった。土偶内部をスキャンした結果、頭部を胴体に差し込んでくっつけた形跡があることが判明。体内には破損につながるようなひび割れもなく、文化財として極めて“健康”であることも分かった。同館の学芸員は「ソケット（受け口）を作り、頭部を差し込むようにしてつなげたと考えられる。土偶の制作過程は今後さらに研究しなくてはならない」と話す。</p>
(17)	<p><b>バルーンアートピクニック部門 八戸の大南さん準優勝</b></p> <p>広島県で6月に開かれたバルーンアート全国大会のピクニック部門で、八戸市在住の大南累世さん(47)が、見事準優勝に輝いた。コンテストは6月11、12の2日間わたって行われ、初日は約8時間半をかけて作品を制作。大南さんは、「おとぎ話」のテーマに沿って風船約300本を使い、水色と白を基調とした鮮やかな色合いのピクニックを制作した。世界大会での受賞経験者らの中での上位入賞の快挙を喜びつつ、「いつか青森県でコンテストが開かれるよう、今後も制作活動に励みたい」と、決意を新たにしている。</p>



<p>(18)</p>	<p><b>バーテンダーの祭典「ワールドクラス」日本大会 八戸市の2人が快挙</b></p> <p>八戸市のバーテンダー茂内真利子さん(36)と久保俊之さん(44)の2人が、6月に東京で開かれた世界大会への出場権を懸けたバーテンダーの祭典「ワールドクラス」日本大会でそれぞれ2位、3位の好成績を収めた。カクテルの出来栄はもちろん、フレンチエッセンスの力や創造力などバーテンダーの資質も審査対象となる世界有数の大会で、52カ国から1万5千人が世界一を目指してしごぎを削る。世界大会に出場できるのは各国のトップのみで、茂内さんは、あと一步のところを惜しくも世界大会への切符を逃したが、「これからお客様さんに楽しんでもらえるカクテルを作り続けたい」と決意をにじませる。</p>
<p>(19)</p>	<p><b>八学光星 春夏連続の甲子園出場へ</b></p> <p>第98回全国高校野球選手権青森大会決勝が7月21日、青森市宮球場で行われた。春季県大会の初戦で敗れた八学光星は、ノーシードから勝ち上がり、準々決勝で弘前東との打撃戦を制し、準決勝では春の県王者・八戸西を撃破。この日の決勝で大濠に大勝し、2年ぶりの8度目の優勝を果たした。今春のセンバツに続く春夏連続の甲子園出場。全国高校野球選手権は8月7日に甲子園球場で開幕する。</p>
<p>(20)</p>	<p><b>「森のおとぎ会」始まる ～昔コ(昔話)に笑顔～</b></p> <p>長者山新羅神社境内で7月22日、夏休み恒例の「森のおとぎ会」が始まった。八戸童話会の会員が語る南部地方の「昔コ(昔話)」を、鳥のさえずりが響くすがすがしい空気の中、子どもたちとその保護者ら約40人が楽しんだ。森のおとぎ会は1924年に八戸町(現在の八戸市)が大火に見舞われた際、子どもたちに夢と希望を与えようと教師らが八戸童話会を結成して始まった。戦争で中止となった45年を除いて毎年開催。今年は28日まで、毎日午前5時半から同神社で開催する。</p>
<p>(21)</p>	<p><b>鮫漁港で全国水産・海洋高校カッターレース開催</b></p> <p>全国の水産高校などの生徒たちが日本一の座を目指して競う第18回全国水産・海洋高校カッターレース大会が7月23日、鮫の八戸港第一魚市場前の特設コースで行われた。大会には全校16校の選手たち約270人が出場し、熱戦を繰り広げた。東北地方から唯一出場した八戸水産高校は準々決勝で惜しくも敗れ、涙をのんだ。八戸市が会場となったのは2013年以来で4回目。京都海洋が2年ぶりの4度目の優勝を果たした。</p>
<p>(22)</p>	<p><b>八戸市博物館で「かつば展」開催</b></p> <p>カップにまつわる資料を青森県内外から集めた特別展「かつば展」が、八戸市博物館で8月21日までの日程で開かれている。八戸地域でも「メドツ」として多くの伝承を残す不思議な存在の歴史や、人間との関わりを知ることができる。1976年、八戸市田向地区の用水路に設置され昨年撤去された「メドツが出るぞ」の看板も展示している。</p>
<p>(23)</p>	<p><b>八戸三社大祭 制作技術向上狙い、全27山車組から審査員</b></p> <p>今年の八戸三社大祭の山車の審査が大きく変わる。昨年は観光、文化など各団体の関係者のほか、3神社の山車組代表の3人を含む計12人が担っていた。今年には運営委審査部会が選考した9人と、各山車組の代表27人の計36人が審査に当たる。審査部会の佐々木伸夫部会長は「コネクト無形文化遺産への登録も見据え、審査を進化させる。制作者が互いに山車をじっくりと見る機会にもなる」と意義を強調。来年以降の在り方は、改めて検討する。</p>

**八戸舞台ドラマ「制服捜査3」主演の内藤剛志さんから市内で撮影が本格化**

(24) 八戸市を舞台にしたサスペンスドラマ「制服捜査3」の撮影が、市内各地で行われている。主演の内藤剛志さんのほか、市民エキストラも参加してロケに臨んだ。2013年からTBS系列で放映されている「制服捜査」の第3弾で、7月20日に南郷地区の「山の楽校」周辺で撮影が行われた。その他の舞台は、種差海岸や白浜海水浴場、陸奥湊などが選ばれている。内藤剛志さんは「八戸を何度も訪れているが、海の景色だけでなく山の風景も素晴らしい。人情も含めた街の魅力を表現できた」と話していた。放送は8月22日午後9時からの予定。

**南郷サマージャズフェスティバル ～好演！熱演！名演！～**

(25) 東北最大級の野外ジャズイベント「第27回南郷サマージャズフェスティバル」が7月30日、南郷地区のカッコーの森エコーランドで開かれた。県内外から詰め掛けたファン約2千人が、米国ジャズ界を代表するベニス・リチャード・ボナさんから5組の迫力ある生演奏に酔いしれた。この日は開演後に落雷で一時中断するトラブルがあったが、その後天候は回復。会場を埋めたファンは、ビールや料理を楽しみながら、各グループたちの熱い演奏を堪能した。